

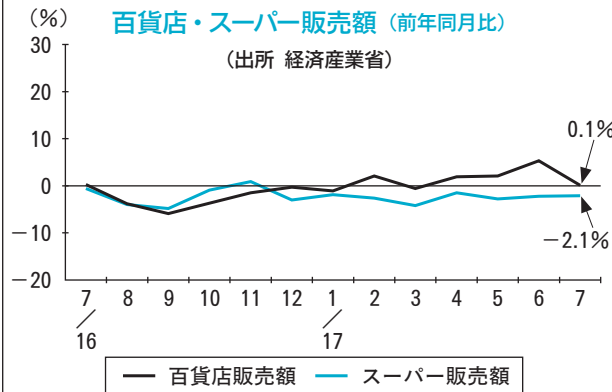


京都府経済の概況

一部に弱さがあるものの、緩やかな回復基調である

1

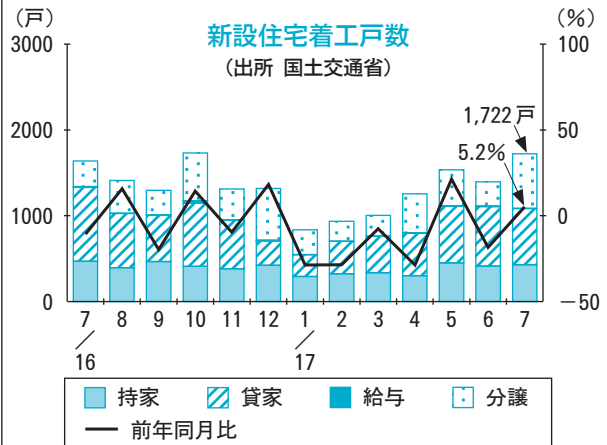
個人消費 (百貨店・スーパー販売額、速報値、全店ベース) 総販売額は前年同月比 2 か月ぶりの減少



- 7月の百貨店販売額は前年同月比0.1%増の215億40百万円で、4か月連続の増加。
- 7月のスーパー販売額は同2.1%減の210億99百万円で、8か月連続の減少。
- 百貨店・スーパーの総販売額では同1.0%減の426億38百万円で、2か月ぶりの減少。

2

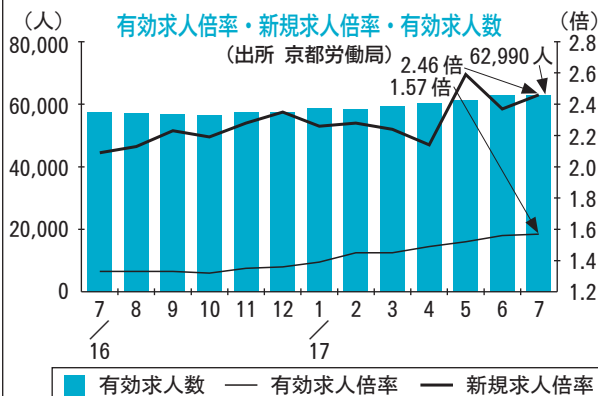
住宅着工 新設住宅着工戸数は前年同月比 2 か月ぶりの増加



- 7月の新設住宅着工戸数は前年同月比5.2%増の1,722戸となり、2か月ぶりの増加。
- 利用関係別にみると、持家は同8.7%減の428戸と、3か月ぶりの減少、貸家は同23.6%減の658戸と3か月ぶりの減少、分譲住宅は114.9%増の636戸と2か月ぶりの増加となった。

3

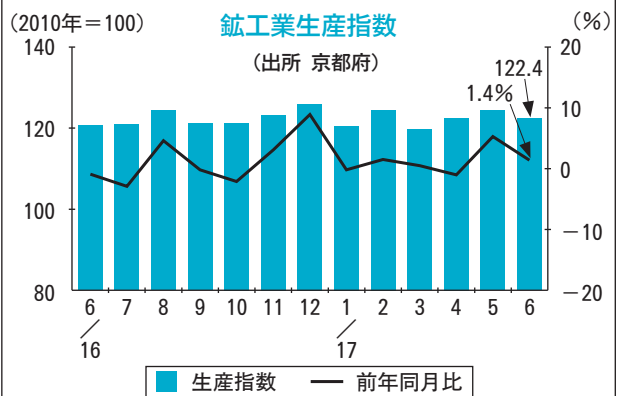
雇用情勢 有効求人倍率は前月比0.01ポイント上昇の1.57倍



- 7月の有効求人倍率(季調値)は、前月比0.01ポイント上昇の1.57倍となり、過去最高水準であった昭和48年3月の1.63倍に次ぐ高水準。
- 新規求人倍率(季調値)は、前月比0.09ポイント上昇の2.46倍と2か月ぶりの上昇となった。前年同月比は0.37ポイント上昇。

4

生産活動 鉱工業生産指数は前月比3か月ぶりの低下



- 6月の鉱工業生産指数(季調値、速報値)は、前月比1.4%低下の122.4となり、3か月ぶりの低下。原指数は前年同月比1.4%上昇の124.2となり、2か月連続の上昇。
- 業種別生産指数の動きをみると、電子部品・デバイス工業、非鉄金属工業などの3業種が前月比上昇となる一方、輸送機械工業、食料品・たばこ工業などの11業種が同低下。